

長崎市提案型協働事業提案企画書

団 体 名	とらねこ文庫
提案事業の名称	絵本で子育て応援“おひざで絵本”事業
提案事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている絵本とわらべうたを中心にした乳幼児と保護者の居場所づくりを拡大し、子育て中の人をつなぐ。 ・参加した保護者と一緒に乳幼児向け絵本のブックリストを作成し、月齢に応じた絵本選びの円滑化を図る。 ・研修を通して絵本が子育て支援のツールになることを地域の子育て支援者に理解してもらう。
課 題 の 緊急性・重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感を持たずに成長する子ども、親の愛情を実感できずに成長する子どもが多くいる。また、子どもにどうかかわればいいのかわからず困っている保護者も多い。さらに、乳幼児（012歳児）を連れて出かけられる子育て支援の場が少なく孤立する保護者もいる。特に母親が安心して自分の居場所と感じられる場がないと子育てに行き詰った時、自分一人で抱え込んでしまう。子育て中の保護者が地域で受け入れられ支えられていると実感できる場の確保が不可欠である。よって、徒歩圏内に子育て中の人が集える場をつくるのが緊急の課題である。 ・長崎市は「はじめまして絵本事業」で絵本を贈っているが、受け取っても子育てにどう絵本を取り入れるかわからなかったり、義務感から絵本を読み聞かせても、子どもに聞いてもらえないと諦めてしまう保護者もいる。絵本の楽しさを体験する機会を幅広く設け、絵本が親子の絆を育てる手助けとなることを伝える必要がある。
協働の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・どの地域で事業を実施するのが最も効果的なのか、子育て支援の実態をよくわかっている行政との話し合いの中で決定する必要がある。会場確保、ブックリストの作成と広範囲での配布、広報が協働することで容易になる。 ・“おひざで絵本”事業や研修会を実施する際、図書館や公民館図書室の本の利用が促進される。
協働による 相乗効果	<p>行政側：子育て支援センターが近くにない場所で開催することで地域の親子の新たな受け皿となる。子育てに絵本を取り入れる保護者が多くなり本の貸し出しが増えて市立図書館を含め地域の公民館図書室も活性化する。</p> <p>団体側：認知度、信頼度が高まり、これまで以上に様々な企画に参加者を獲得しやすくなり、スタッフも得やすくなる。また、安定した実施が可能になる。</p>
協働の役割分担	<p>1 提案団体が果たそうとする役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な“おひざで絵本”の開催。ブックリスト作成のまとめ役。 絵本とわらべうた、子育てに関する研修会の開催。

	<p>2 本市に期待する役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所の確保。地域の子育て関連の団体、読書関連の団体との調整。地域の人たちへの広報を含むPR活動。
<p>提案事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・“おひざで絵本”を月一回開催する。 <p>90分（時間配分 15分：参加者が集合して交流・親子で絵本を読むなど。20分：集団で絵本とわらべうたを楽しむ。15分：親子で絵本を読む。個別相談。20分：集団で絵本とわらべうたを楽しむ。20分：交流・親子で絵本を読む。個別相談。解散）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日以外に週末にも開催して、父親の参加を促す。 ・乳幼児向け絵本のブックリストを文庫メンバーと参加者が協力して作成し、イベントを開催して参加した子育て中の人に配布する。図書館や公民館でも希望者に配布するとともに公民館図書室などにリストの本をそろえた乳幼児向け絵本コーナーを作り絵本を選びやすくする。 ・地域でこの事業に賛同し活動するボランティアを育成するための絵本とわらべうた、子育てに関する研修会を年4回開催する。
<p>提案事業の実施体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総括責任者 廣瀬美由紀（とらねこ文庫代表）—日本子どもの本研究会会員 親子読書地域文庫全国連絡会世話人） ・“おひざで絵本”担当者 石橋登美子（保育士有資格者・子育てサポーター）他10名（保育士・幼稚園教諭有資格者・司書有資格者・子育てサポーター等） ・ブックリスト作成担当者 松川百合（出版社・図書館勤務経験者） ・研修担当者 古賀由紀（小学校読み聞かせボランティア） <p>とらねこ文庫は現在市内2か所で月1回ずつ“おひざで絵本”を実施し、毎年外部講師による絵本とわらべうたの講座を開催している。主要メンバーは2016年の読み聞かせボランティア向けのブックリスト作成委員会に参加した。</p>
<p>事業スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おひざで絵本 <p>2019年4月 “おひざで絵本”の告知 参加者募集</p> <p>5月～2020年3月 “おひざで絵本”（1会場で毎月1回開催）平日開催以外に週末の開催を年に3～4回設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックリスト <p>2019年4月～10月 定期的に打ち合わせをして内容の検討</p> <p>11月～12月 校正・出版</p> <p>2020年1月～2月 乳幼児と保護者向けのイベント（絵本作家の講演会を1回とメンバーによるイベント2回を開催しブックリストを配布して掲載絵本の紹介をする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 <p>2019年6月・9月・11月 研修会の開催</p> <p>1回は外部講師による研修・2回はとらねこ文庫代表による研修</p>

事業の展望及び
今後の活動展開

- ・より身近なところで“おひぎで絵本”に参加できるように、さらに会場を増やしていく。
- ・本事業で作成したブックリストをもとにしておはなし会や研修会を開き、リストの絵本の普及とボランティアの育成に努める。
- ・さらに多くの声を集めてリストの第2弾を出版する。
- ・将来的にはいつでも利用できる絵本を中心にした子育て支援の居場所をつくる。